



探求 総 集 編

成人向
コミック

CRIMSON COMICS

ピアンカ一家は
アルカバを離れ
山奥の村に
住むことになった

そこは温泉以外は
本当に何もないような
田舎だった




ピアンカは
そんな村には
場違いなほどの
美しさで

子供から年寄りまで
村中の男性が
ピアンカの美しさに
惹かれていた

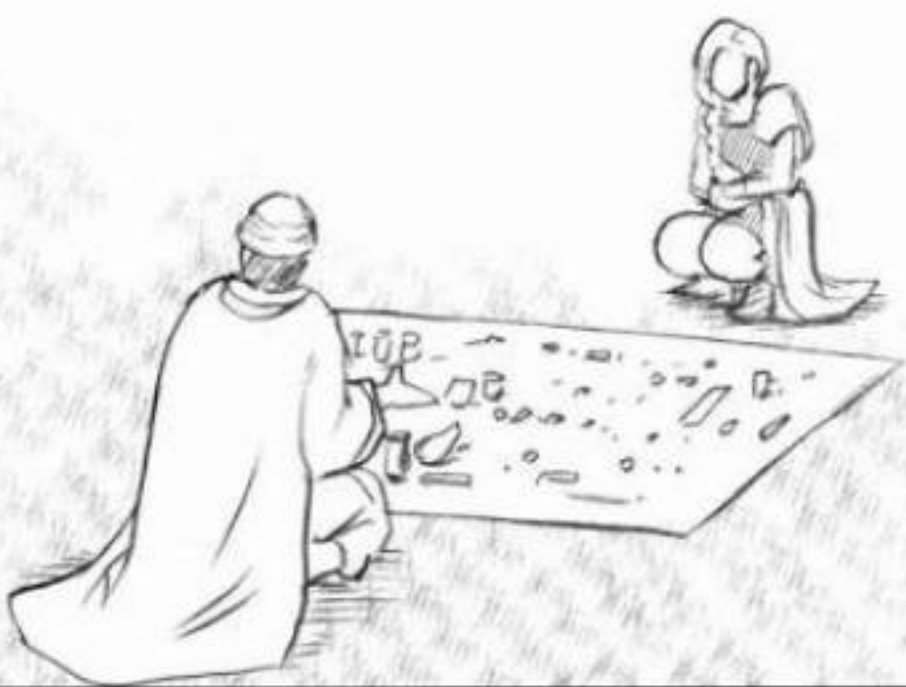
しかし
村の男達の中に
ピアンカの
理想の男性はおらず

結局
誰にも振り向くことは
なかった






あるとき
村に行商人が
やって来た




ピアンカは
売り物のひとつである
不思議な魅力を持つ指輪に
魅入られる




え？
本当ですか？

そしてピアンカは
不思議な指輪を
手に入れた



お嬢さん
とても
お美しいですね

この指輪
3ゴールドで
いいですよ



しかし
彼女は知らなかった

その指輪の持つ
淫靡な魔力を…

ビアンカ 物語

第一話

淫呪の指輪

作 / クリムゾン

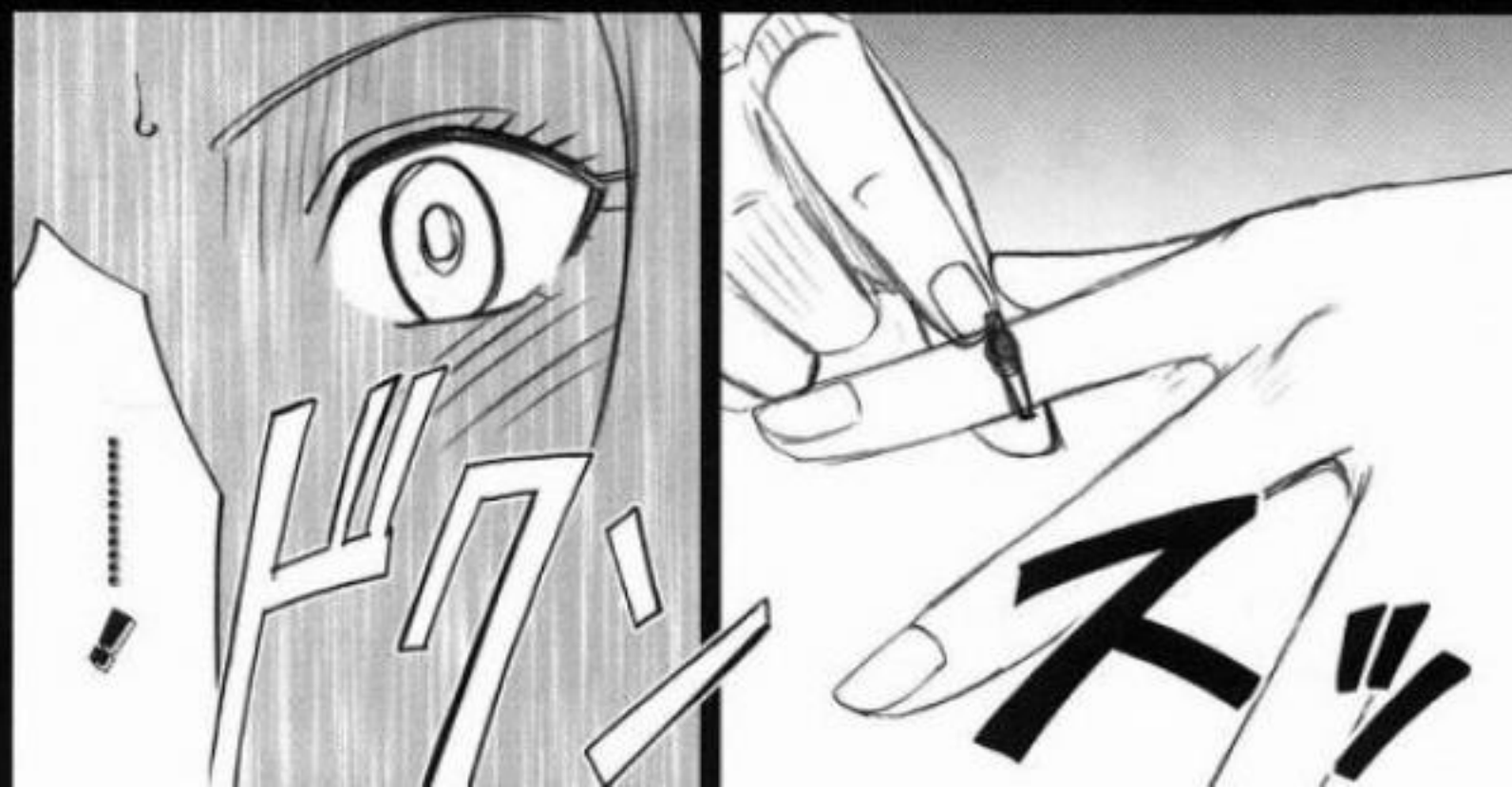
母は死に
今は病気の父を看病する
毎日：


好きな男性もおらず

おしやれをする
機会もないピアンカで
あったが

その指輪は
なぜかつけてみたくなった

夜
父が寝静まった後
ひっそりと
指輪をつけてみた
ピアンカ





しかし
つけた瞬間

すぐにカラダの
異変を感じた！



下半身が一気に
熱を帯び

何もしていないのに
恥ずかしい蜜が
溢れ出した

ズツ

グッ

指輪の危険性を
察知して
すぐさま
外そうとするが

驚き戸惑う
ピアンカ

それは呪いによって
自力ではずすことは
できなかつた

!!!

ほあ

指輪が外せない以上
残された手段は
火照った体を
自らの手で収めること
だけだった

…!!

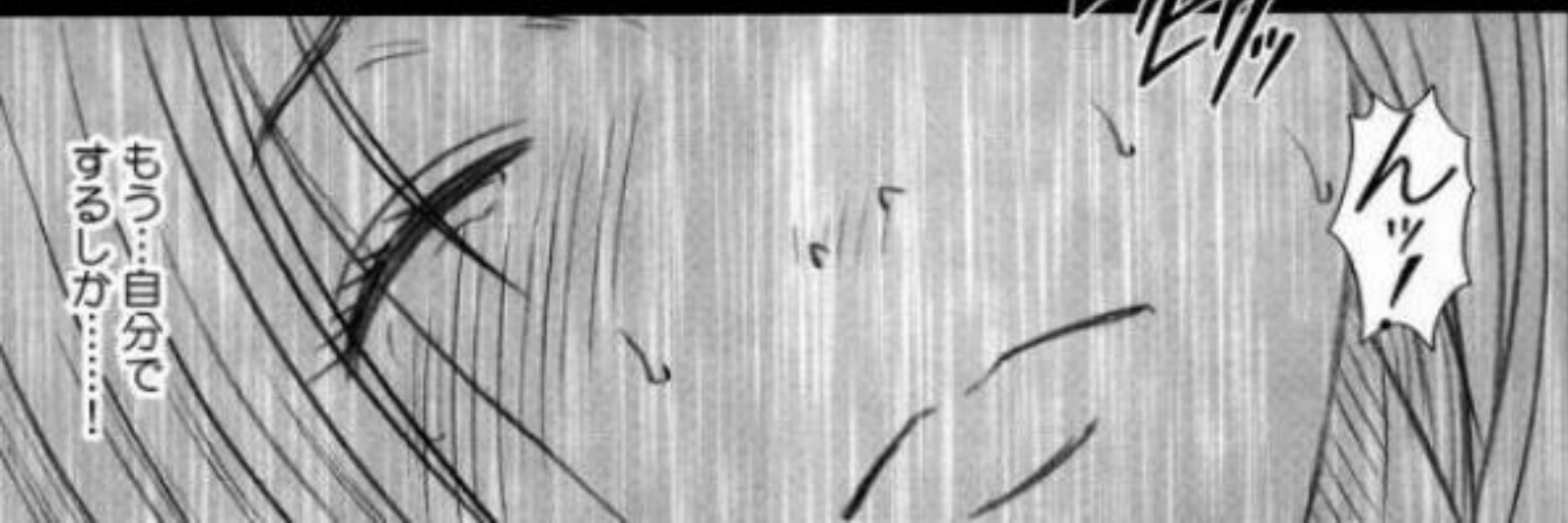
ほあ

んっ…



どうしよう…
カラダの疼きが収まらない…!!

んっ



もう…自分で
するしか…!!

一度
達すれば
鎮まる…
そう思っていた
ピアンカであったが

その考えは
甘かった

何度
絶頂に達しても
疼きは鎮まらない

アハハ

すぐとなりの部屋では
病気の父が寝ている


大きな声を出すことは
できない

ピアンカは必死で
声を押し殺しながら
カラダの内から押し寄せる
快感をなだめていた


結局
その日は疲れきって
眠りにつくまで
5回も絶頂に達した

自分でも信じられないくらい
乱れに乱れた


!!!



次の日になっても
その疼きが収まることは
なかった



むしろ
前日の夜よりも
強くなっております



歩いているだけで
膝まで愛液が
垂れてきそうなほどだった



装着した女性の
カラダに
淫猥な疼きを与える
呪いの指輪…



あ…
どうも…



その効果だけでも
ピアンカを
困惑させるには
十分だったが

恐ろしいことに
指輪の効果は
それだけではなかった



ポワッ



……

ポワッ



あ
ピアンカちゃん
こんにちは

ちよつ…!!
トマスさん!

な…
何を…!!

ビ…ピアンカちゃん
どうしたの?

え…!!
ちよつと!

顔を真っ赤にして
目をウルウル
させちゃって…

オレのこと
誘ってるの?

グッ
グッ

ち…違うわ！
そんな…！

私は…

男を拒否する
ピアンカ

しかし
指輪の影響で
男の稚拙な責めにも
カラダは過剰に反応してしまう

あ！！

毛汁 毛汁



違わないよ

こんなに
感じてるじゃないか

ほあ

ぷる
ぷる

それがまた
男に無意味な自信を
与えてしまう

ほあ

ピアンカちゃん
感じるのは
ここかな？

…
…
!!

それとも
ここかな？

ん!!

もう男の欲望を
止めることは
不可能だった



ビアンカのカラダの
反応は
感じている女のそれに
違いなかった

朝から必死で
押さえつけていた
快感が
男の無遠慮な愛撫で
一気に解放されていく

どんなに口で
否定しても
ムダだった









あああッ!!!

アッ

アッ

イッた...

今
イッたんだよね
ピアンカちゃん

ほあ

ほあ

ぷるぷる

ほあ

ぷるぷる

じゃあ
次はオレの番だよ

いやっ！

バキッ

バキッ

ビアンカ 物語

第二話

第二の魔力

作 / クリムゾン



ピアンカは
一度イカされはしたが

これ以上は
絶対にさせたくなかった

男を突き飛ばして
脱出に成功し

そのまま山道を走って
何とか男を
振り切った



そしてまた
一人の男に遭遇する





フムフム…
それで…
裏わられた…って？

トマスの奴に
何をされてたんだい？



カラダを
どうしたのかな？

具体的に
何をされたか
言ってもらえないとね
分からないねえ



えっ…
そ…それは…

その…
トマスさんが…

私の…
カラダを…



例えば…
こうされたとか

…！



フム！
おっばいを
採まれたのか？

ま…おっばい
くたさ…！



えっ…！

ちよっ…！



あっ…



や…やめっ…



おっばいを
採まれたん
だね？

どういうふう
に採られたの
かな？



こうかな？

こう
強く揉まれたのかな？

モロモロ



こうやって
乳首を
いじくられたのかな？

ギョッ

それとき
こう...

ギョッ

もう一つの
指輪の魔力…

それは
指輪をつけた者に対する
性欲を倍増させる
効果だった

つまり
指輪をつけた女性は
男性に狙われやすくなってしまふ

ただでさえ
村中の男に
性の対象として
見られていたピアンカが
そんな指輪をつけてしまったら
襲われないわけがない

ダッ
ツ
ダッ
ツ
ダッ
ツ

何もなかった…

昨日までは
本当に何も
なかった…

でも
今日は違う…

村も自分も…

はぁー

はぁー

すべての男に
狙われる…

そして無理矢理
襲られても
感じてしまうほどに
鋭敏なカラダ…

ピクッ

はぁー

あッ!!

あ…

ピクッ

暖々

指輪一つ
つけただけで

何もない山奥の村が
ピアンカを追い詰める
性の監獄へと
豹変した



クックッ

あッあッあッ

ビクッ



へへへ
ピアンカちゃんは
本当に
感じやすいんだねえ

持って！
もう…許して…！

グッ

ほあ

ほあ



あッ!!



ピアンカちゃんが
こんな女の子
だなんて
知らなかったよ

もう
グチヨグチヨ
だね



ち…
違うの！

これは…！

違う…!!
これは私のカラダじゃない…!!

んっ…

んっ…

…!!

私は本当はこんなことで
感じたりするような女じゃないのに…!!

んっ…

んっ…

んっ…





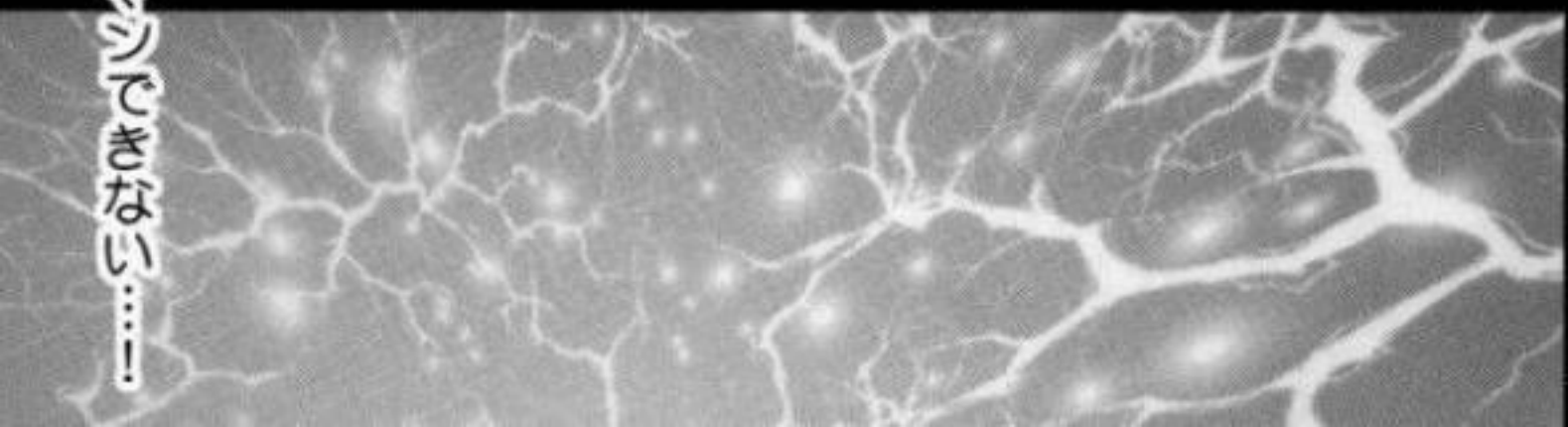


頭が痺れる……!

自分でしてたときは
全然違う……!!



ガマンできない……!







今日だけでも
3回も...

また...イッた...

この#6#6...
私...

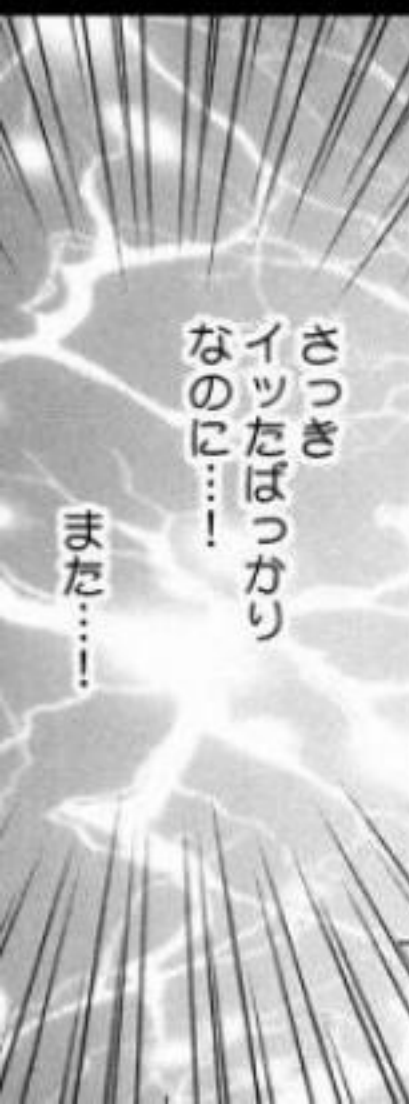


えっ...!



そんなに
気持ちいいのかい？

じゃあ
もっとして
あげよう



さっき
イッたばかり
なのに...!

また...!



いざっ...!

うきうき...!



アアアア

アッ

ムムム

そこから
お尻を3回...

!!!

くっ...

ビクッ
ビクッ

いやがるピアンカの
太ももを
両腕で押さえつけ
股間を舐めまくって
イカせ続けた

はっ!

さんざん
イカせて
ピアンカの恥部が
濡れそぼったことを
確認すると

男は
ズボンを下ろし始めた

ドキッ

.....

ま...
待つて!

それだけは
許して!

そうは言っても
ここまで来たら
もう取まらないよ

一度
出さないとね

.....!

ま...待って!

分かった!

口でする!

口でするから!

挿入されるのだけは
何としても拒否したかった
ピアンカが
とっさに思いついた
回避手段は
フェラチオだけだった

もちろん
好きでもない男の
モノをくわえるなど
望むことではない

しかし純潔を守るためには
他に方法はなかった





ヒッヒッ
ヒッヒッ

いや、
まさか
村随一の美人
ピアンカちゃんに
しゃぶってもらえる
なんてね



ほら
もっと舌も使って

ピョチャ

ピョチャ



ただでさえ
慣れない
フェラチオ

しかも
下半身をイタズラされ
続けながら...





それでも
ピアンカは
必死でしゃぶり続けた



この男を
射精させれば
この場はなんとか
逃れることができる

その一心で
すべての恥辱に
耐えた



ん!!





精液を放出すると
男は突如
目が覚めたかのように
そそくさと
その場を去っていった

なんとか
その場は凌いだ
ピアンカだったが

悪夢はそれで
終わりではなかった…

ピアンカ物語 2



成人向
コミック

ピアンカ物語

第二章

作 / クリムゾン

その夜も
疼きは
止まらなかった


ほあ

ほあ


ほあ

自分で慰めて
おさめるしか
方法はなかった





一度
指を動かし始めると
もう止まらなかった



病気の父が
隣の部屋で
寝ている…

んんッ!!

そんな中で
オナニーすることの
罪悪感をも
凌駕するほどの
快感…

ベッドに入ってから
2時間で7回の絶頂…

前の日を上回る
終わりなき
快感への欲求

もう
歯止めがきかなく
なっていた





はっ！

ダメだ…

このままじゃ…

はっ！

このまま

こんなことを

続けていたら

頭があかしく

なってしまう…

はっ！



しそつだ…

教会…！



とにかく
この指輪をなんとか
しないと…



この指輪が
呪いのアイテム
なのだとしたら…

教会で呪いを
解いてもらえば…

翌日

ピアンカは
わらにもすがる思いで
教会に向かった

ふむふむ
なるほど

それは大変な
ことですね…

……

つまり…

その指輪を
つけてから
カラダがおかしく
なってしまった
わけですね

……はい…



分かりました

それでは
詳しく
見てみましょう



.....



むむ...
外れませんね...

なるほど
やはりこれは
呪いのアイテムですね



でも
大丈夫

私が
解呪して
あげますよ

やっと
呪いから解放されるー

そのことで
頭がいっぱい
だったピアンカは

神父の笑顔に潜む
欲望に
気付いていなかった

それでは
解呪の儀式を
はじめますよ

リラックス
してください
ピアンカさん

まずは
カラダを清めて
いきましよう





あっ！

恥ずかしがっていたら
解呪はできませんよ

グッ



えっ…
あ…

まずは
聖水でカラダを
清めていかないと…

そうじゃないと
解呪できませんからね

グッ

ほ…本当に…
これが解呪なの…？

しっかりと聖水を
塗って
呪いへの抵抗力を
高めていきましょう

びる
びる

…!!

ムニムニ

ギョッ

……!

びる
びる

ギョ
ギョ



そ...そんな風に
触られると...!!



もうすこし
胸部を清めま
しょうか



ゴ



ほら
心地よい気分にな
ってきたでしょう？

呪いが抜けてきている
証拠ですよ







ガマシ
できない……!

ふるふるッ

体中が
ゾクゾクする
……!



もうダメ……!
今の私の体じゃ
これ以上は……!

一度
中断して
もらうしか……!



……!!



えっ!?!

ズッ
ズッ



ピアンカさんが
暴れるからですよ

これから
もっと
本格的に
解呪の儀式を
していきますからね



.....



な...なんで!?

なんで
縛るんですか?

ギシ

ギシ



早く
呪いから
解放されたいの
でしたら...

これが
終われば
ピアンカさんの
カラダは元通りに...



何も
心配はいりませんよ



.....!!

今だけ
ガマンしてくださいね

アッ

アッ

え...??
待って!

ちゅっ
待ってください...!

んっ!







あああ
あああ
あああ

ア
ア
ア

ア
ア
ア

ア
ア
ア

それから
数時間

呪いを解く儀式と
称した
セクハラは続いた





いつのまにか
ピアンカは全裸にされ

聖水という名の
ローションを塗りたくられて
ただでさえ敏感なカラダを
ますます敏感にされ！



もうこれは
呪いを解く儀式
なんかじゃない…

…!!

そう思っても
両手を縛られて
イスに固定されている以上
今さら
もう何もできない

ウツツ

ウツツ

すべて
されるがまま…



カントンにイキ果てて
ビクビクと躍動するピアンカの痴態に
興奮をおさえることができず

徐々に神父の行動も
儀式の体裁さえない
淫欲に溢れた
ただの悪戯に変化していった







しかし
そのたびに
激しい電流がカラダ中を
痺れさせて
ピアンカの声さえぎった

何度も本気で
抗議しようとした



どうしたんですか
ピアンカさん

また
イキそう
なんですか？





ワッ



縄が解けた!



……



……

ワッ

一瞬のスキをついて
なんとか
脱出した
ピアンカ

しかし
全裸のピアンカは
すぐに村人たちに
囲まれてしまった

そして
縛られたまま
神父の性拷問を
受け続け
疲れきった体では

もう
逃げることは
できなかった…

ピアンカはそのまま
温泉に連れて行かれた

なんだか
ヌルヌルしてるな

体中に何か塗られた
みたいだね

オレたちが
洗ってあげるよ





何回もイッた後で
しかも全裸のままでは
たいした抵抗もできず…



どうしたの？
グッタリしてるね？

神父の奴に
ひどいこと
されたのかい？

ククク…

フィル

フィル

ビクッ

ビクッ



また...性感を高められる...!

誰か助けてくれないの?







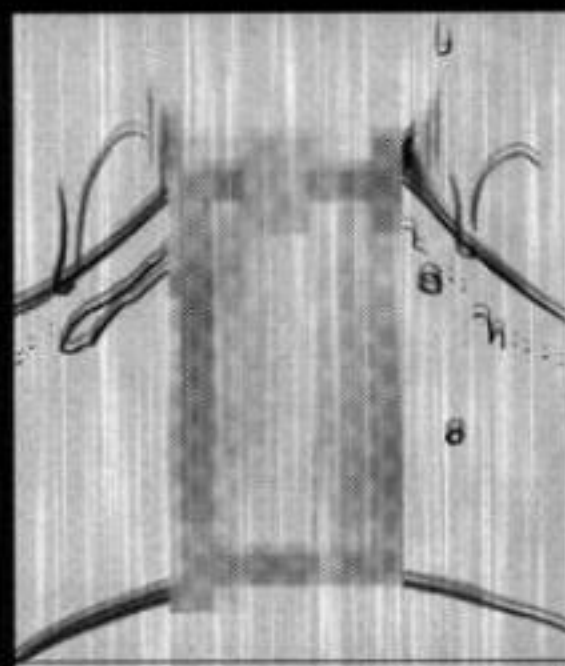
しかたない
ここは



おやおや













んんんんん!!

ギョッ

グッ

グッ

グッ



その次は
オレだぜ

次はオレの
番だな



あぁ!!

アッ!!



アッ!!

あッ!!

アッ!!

アッ!!

アッ!!

そのままピアンカは
温泉で
村人たちに
休む間もなく
犯され続けた…

次から次へと
温泉にやってくる
村人たち…

ほぼすべての住人の
欲望が
一人の美女に
そそがれた…

女賢者の油断

おんなけんじやのゆだん



成人向
コミック



これで
転職の儀式は
終わりじゃ



そなたは
今日から

賢者として
生きるが良い

また1から
経験の積みなおして
大変だとは思うが

そなたに
これを授けよう

魔力がきれた後も
高い攻撃力を維持できる
賢者だけが装備できる
杖だ



これからも
精進するのじゃぞ

ありがとう
ございます



強く美しい女が



更なる高みを目指して
転職した

選ばれし力を持つ者
賢者…

きっとそのうち
我々の想像もつかない
強大な力を身につけて
いくのだろう…

でも…

今なら…

やれる…!!



女賢者の油断

作 / クリムゾン



キラッ!



今日はそんなでる
宿屋に帰ろうかな…

転職したてで
まだMPも少ないから
仕方ないか…!



…うん

MP切れか…

ピラッ

ピラッ

盗賊……？

よりによつて
こんなときに……

修行かい？
女賢者さん

オレたちと
遊ぼうぜ

結構です

MPがないことが
バシないうちに

ケガしたくなかったら
そうそうに
立ち去りなさい

なんとか威嚇して
戦いを回避しないと……

バツ

……
……





やめなさい
……つて……

ムフムフ

やっ!
ちよつと!

ムフムフ

ムフムフ



あつ!

もうアンタの
MPがないこと
くらいな……!!



ダメッ!

さや

さや



そんなに虚勢を
はったつて
ムダだぜ

オレたち
ずっと
見てたんだからよ

はあッ!

ムフムフ

分かって
るんだよ

んッ……

ムフムフ











あ... タメ...! 止まらない...!

ガ
ム
ル
ル

ヤッ

も
も

ウッ

も
も

ル
ル

この杖... 確実に恥ずかしいところを責めてくる...!

ウッ







へへへ…
女賢者サマは
結構巨乳だな

一体何が起きているの？

…!!

何だ？
そのポーズ
オレたちに見せつけてるのか？

何で私の持っていた杖が？

くっ…

んんんんん

んんんんん

それにこの杖…

私が今
胸を守るうと思っただ瞬間に反応して
胸を集中的に責めてきて…

…!!

んんん…

まるで私の嫌がることを
読んでいるみたいだ…!!

このままでは

もっと恥ずかしい
部分を…



ムニムニ

何だあ？
オナニーシヨを
見せつけてるようになし
見えねえぞ？

はぁッ！

ムニムニ

ん？！！

そんなに
欲求不満なんだったら
はじめっからそう
言えって

ち…違います！
これはっ！

よ…奇らないで！



オレたちも
賢者さまが
もつと気持ちよく
なれるように
手伝ってやるからよ

あ!!

グ
グ
グ

なんだかんだ
言ってる
結局こうなること
期待してたんじゃねえのか?

...!!

本当にイヤなんだったら
早くその
杖を止めろよ

自分の杖
だろ?
ククク...

...!!

ク
ク

ク
ク

ク
ク
ク



おっと…
スゲエ
のけぞり方だな

もまれながら
乳首いじられるのが
そんなに
気持ちイイのか？

ああ!!

クワッ クワッ

クワッ
クワッ



ダメツ…!!

せっかく
賢いのに
そんなに
気持ちイイこと
ばっかりやってたら

オレたちみたいに
バカになっちまうぜ

クワッ クワッ

ムニ



おいおい
いくらなんでも
ちよつと
感じすぎだろ？

んんッ!!

キッ
キッ



ま...
女買者サマが
それでいいってんなら
別にかまわねえけどよ

ククク...

ムニニ
ムニニ



ここは
屋外なんだぜ？

その杖
ちよつと止めたほうが
いいんじゃないかねえのか？

はっ

はっ

転職前ならば…

もう少しだけ
レベルが上がって入れれば…

MPが残っていれば…

パーティを
組んでいれば…

普通の武器を
持っていれば…

こんな男たちに
負けることはなかった



しかし今
女賢者は
抵抗もできず

や…やめなさい！
ヘンタイ！

ククク

男たちの
なすがままに
なっていた

屋外で
自分の杖を使って
オナニーショーを
はじめると
賢者サマのほうに
よっほど
ヘンタイだぜ

ち…ちがつ
あれはっ…

ああ！

ああ！
ああ！





…!!

ほらほら

オレたちみたいなの
バカな男の前で
イッチまうのか？

女買者サマ

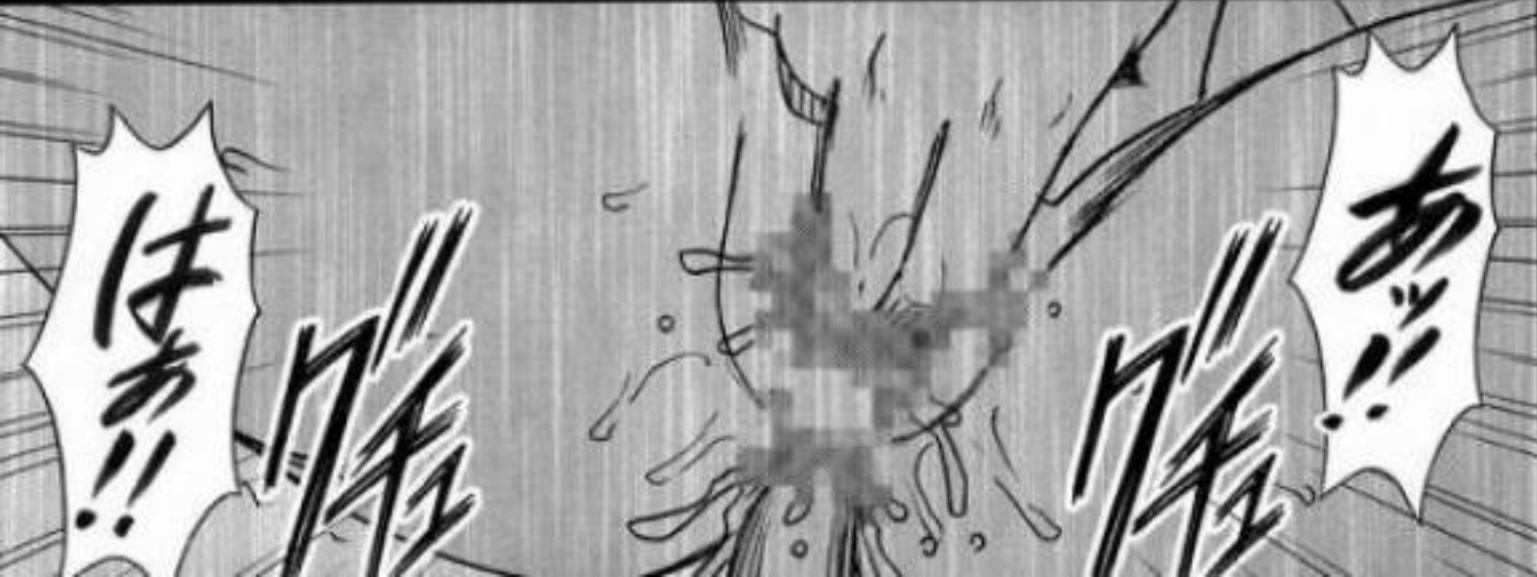
フル
フル



くっ…

くっくっくっ

くっくっ



あッ!!


くっくっ

はッ!!




あッ!
あああ

暖
暖




その後も
自らの持つ杖と
二人の男と

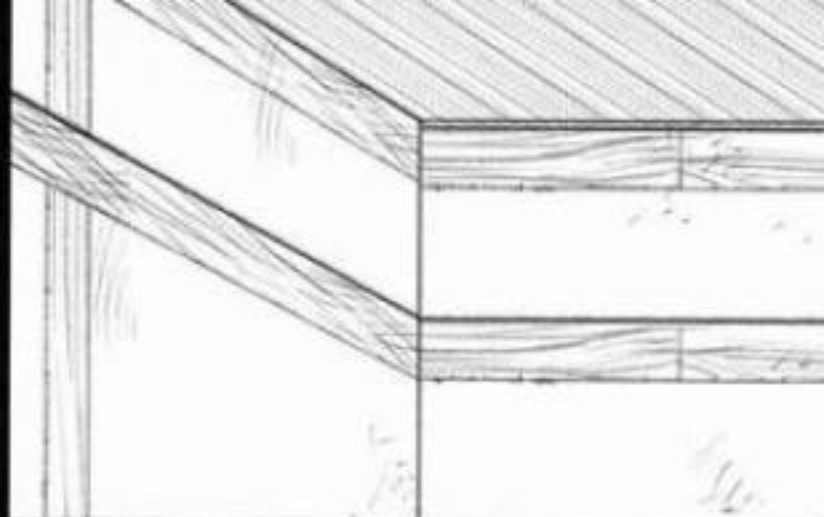
ダメージから回復して
立ち上がってきた
男も陵辱に加わり



敏感な部分を
さんざんに觸られた後



毒蟻の粉を使われて
意識を失った…



ターマの…

神官？



ククク…
その表情…

私のことを
覚えているのだな



これは一体…
どういう
つもりなのかと

言いたそうだな

どういうつもりも何も
すべてお前を
犯すため…

お前を襲った
盗賊は
私の差し金だよ

……！





どんなに強い者でも
転職直後は
その力を
発揮できない

それに
レベルアップのため
一人で行動することが
多い

そこが狙い目

自分よりも強く
才能のある女を
犯すのには

これ以上無い
好機なのだよ

んくっ!

くふううう!

ククク…
たまらんな
その目

なんと
言う
気高さ

とても
盗賊たちに
嘲られた後の
女の目とは思えん



思ったより抵抗
したそうじゃないか

念のため
杖も持たせておいて
正解だったよ
ククク...

んッ...
どうだったかな？
私の開発した
性魔具は？

なかなか
気持ちよかった
だろう？

毛汁
毛汁



これは
魔法力を
性的刺激に
変換する棒だ

...!!
これで
敏感な部分を
つつけば...

.....!



私は普通の魔法の
才能はなかったが...

性魔具の開発だけは
得意でな...

ほれほれ

どんなに
強い女であろうと
ここを責められると
弱いもの…

んんッ!!

ビクッ

ビクッ







寝ている間に
さんさん
責め続けていた
からな

ククク…
ガマンなど
できるはずもない

さて

寝ている間
ずっとガマンして
いたんだ

そろそろ
入れさせて
もらおうかの







wh
wh
!!h



ダーマの神官を
しながら

今まで多くの
強い女を

んッ！

んッ…

転職直後の
スキを狙って
犯してきたが

んッ！



久しぶりに
最高の素材に
めぐり合えたよ

この若さ…
この容姿…

そして
選ばれし職業
賢者

素材として
申し分ない

…!!

んッ…

んッ！

夢と希望を持って
転職する女を

卑怯な手段で
おとしめて
陵辱する

それが
私の唯一の
愉しみなのだよ

才能あふれる
若い女が
また一人！

志半ばで
散っていく

ククク...

ん？！

んんッ！！

嗚

嗚

嗚

賢者として
呪文を極める夢も

魔王を倒す
旅もここで終わりだ

これからは
私の性奴隷
コレクシヨンの一人として
かわいがってやる

んんん!!

んんん!!

んんん!!

ガシ
ガシ



んん
んん
っん
!

んん
んん

2800万アクセス突破!



日本のゲームは美しい。

蒼い世界の中心で 完全版

セグアVSニンテルド!

コンシューム大陸の占有率をめぐるハードな戦争!

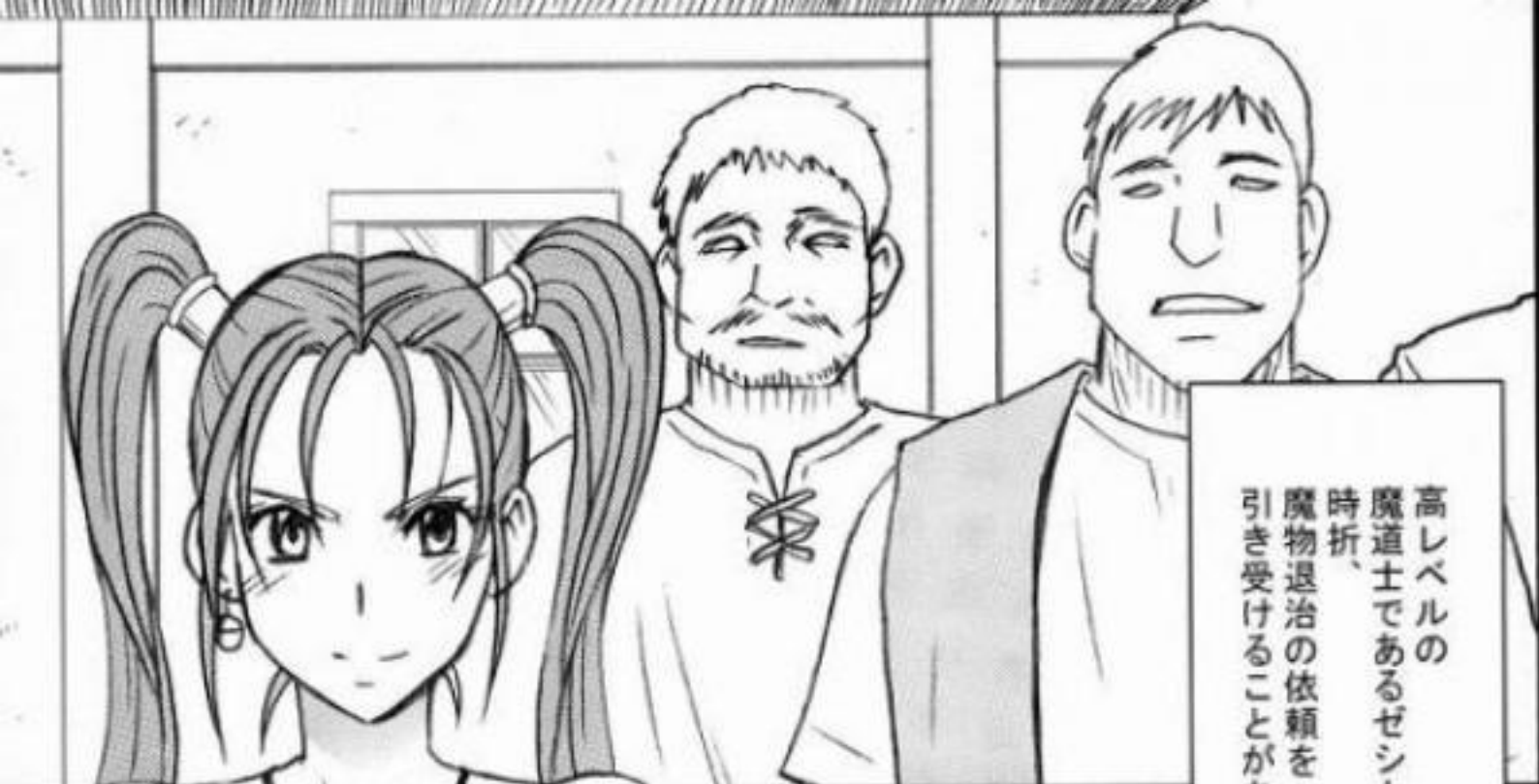
公式WEBサイトにて週刊連載中です。
毎週金曜日に更新しています。
趣味でやっているのでも全話無料公開です。

「蒼い世界」「セガチュー」などで
検索したら見つかると思います。
<http://oab.sakura.ne.jp/gia/>


ゼシカ墮



成人向
コミック



高レベルの
魔道士であるゼシカは
時折、
魔物退治の依頼を
引き受けることがあった




今回もまた
辺境の村から魔物退治の依頼が
あるとのことやって来た



任せておいて

私 came きたからには
もう大丈夫



その村では以前から
若い娘をモンスターへの
いけにえとして捧げているという

話し合いの結果
ゼシカが今回の村娘のフリをして
いけにえとなり

モンスターが油断しているところを
倒すという罠作戦を
決行することになった



そして
目的の塔へと赴いたゼシカ…

ゼシカ墮

作 / クリムゾン



ここが
イケニエの
祭壇です



分かったわ
任せておいて

必ずモンスターを
倒して帰ってくるから



イケニエはいつもここで
拘束された状態で
待つことに
なっています

今回は特別に
外れやすいように
細工をしておきましたから

ここで拘束されてる
フリをして
待機しててください

カチャラ

それから
数時間が経過した…



遅いわね…
まだかしら…

ミッ
ヤラ
〇〇



ギッ



来た…！



若い娘を
いけだすと求めの魔物して…

いらたいんな奴なのかしら…









以前
ベルガラックで

歩きたびに揺れる
お前さんの乳を
見てワシは衝撃を受けた

それ以来

すつと
こうするのが
夢だったんじゃ

毛肌

毛肌

この乳をこうするためには
かなり大金を
つけたからのお

存分に
楽しませてもらうぞ



ま...まさか...

今回の依頼はすべてこの男の魔...??

ふざけた真似を!

この程度の拘束で私を
どうにかできるなんて
思わないで!

私を...
拘束するための
罠だったんじゃないの...?

モッ
モッ



くっくく
その拘束具は
トロールでも
ひきちまわることができない
特性のものじゃ

か弱い魔道士が
力づくでどうにか
できるものじゃない

ならば魔法で...

モッ
モッ





どうかな？
ワシの愛撫は

胸は
弱いのか？

レロ



まったく反抗を
してこないところを
見ると…

集中が…！

相当
キてると思って
良いのかな？

敏感な部分を触られると集中できない！



タメだ…!!



ムニ…！



カッ
カッ

とんたんMPが
吸収されて……!

早くなんとかしないと
本当に打つ手が……!

巨乳なのに
なかなかの感度で
すばらしい

でも
もっとワシ好みの
乳に改造させて
もらおうかの

世
来

スッ







ちゅるる



ちゅるる



んん
んん
!!ん

んん!!

ちゅるる



胸が…胸がもつたメ…!!

ちゅるる

はあ!!





おっと
軽くイッたかの？

そうなれば
MPの吸収は
より速まる

そんな調子で
感じておつたら
あと数分も
たたないうちに
MPがカラッポに
なってしまうぞお？

いくら天才魔道士の
ゼシカちゃんとは言え

魔法がまったく
使えなくなると
まずいのでは
ないかな？

気をつけ
なされよ

イクということとは
心の抵抗力が
無くなるということ



もう一度
集中を……!

くっ……



……!!

集中を……!



このおっぱいは
卑怯さしか
とりえないような
中年男の

……!!

慰みモノに
なつてしまいますぞ……



んんっ!



そろそろ
オッパイだけじゃなく
こつちも
触らせてもらおうか

もえ
もえ

まだ…
まだいける…!!

はあー

あ…

ククク

マヒヤト…らざ
こんな男
ヒヤタルコで充分…!!

ク

魔法一発分の
MPさえ残っていればまだ…!!

嗚

嗚





んッ！

2本では
手が足りんなあ

オッパイも賣めたいし
マ●コもいじりたい



ふむ

やはり
すばらしい
カラダだ



しかたない

マ●コのほうは
コツチで...



アッ

ゼシカちゃんが
イヤらしく
アソコを濡らして
いなければ
振動したりはせんよ



や...やめてっ！



知っているかな？

これは振動石という
水分を
吸収すると微弱な振動を
続ける魔法石じゃ

これを
パンツの中に...



んん
んん
ッん
!



んんん?

ものすごい
振動じゃなあ

おやあ

さて…では
ワシは再び
胸をいじりたおすか

ゼシカちゃんが
感じたりしなければ
振動石は止まるし

ズン

あ…
毛
毛
毛

杖によるMP吸取も
減速する



すこしがマンするだけで
いいんじゃないぞお？

簡単なこと
じゃろう？
くっくっく…

ズン



それとも
ガマンできないほど

イイのか
ワシの愛撫が？



ああ!!

おっ...!!

んん!!

ム...タ...EX...!!

おっ...!!

ああ
ああ
あッ
!



ゼシカ墮

後編



シラッ

あ
あ
あ

魔法力が底を
つきた後も
しつこく責められ続けた

そしてゼシカは

シラッ



手足を
きつく拘束され
より無防備になつたカラダへの
男の愛撫による
快楽責めと

特殊な杖は
魔法力を吸い取りきつた後も
ゼシカの精神力を削り続ける



無情な杖による
精神吸収の
同時攻撃で

ゼシカの思考は
崩壊寸前にまで
追い込まれ



はあ!!

最後には
気絶するまで
追い込まれた...

やがて絶頂が
とまらなくなり...

ウツウツ

そのまま
塔の別室に連れて行かれ…

体中を
拘束され

MPも
ゼロ…

絶体絶命じゃなあ
ゼシカちゃんよ

ギシ

ギシ



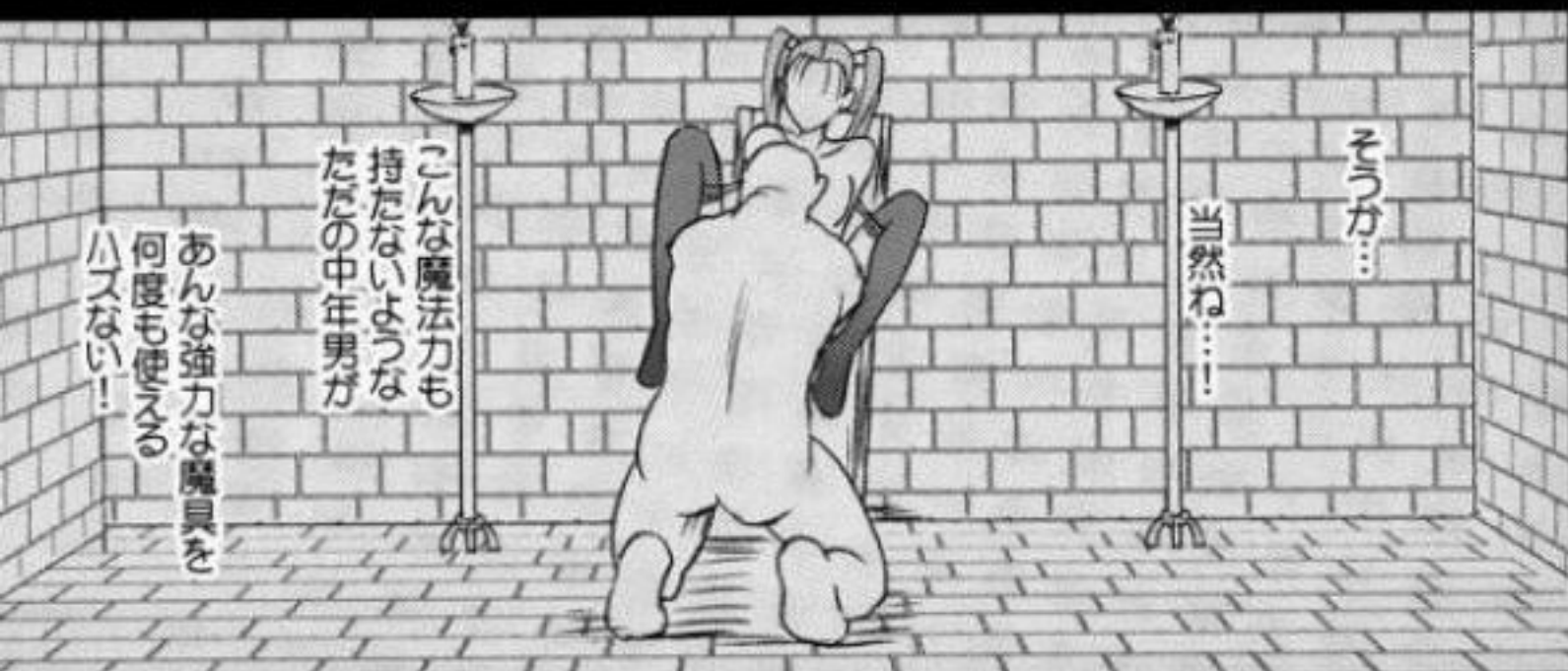




魔具の効果か
溶けてる...

!!?

キムチが
体に変化がない.....



そうか...

当然ね...!!

こんな魔法力も
持たないような
ただの中年男が

あんな強力な魔具を
何度も使える
ハズない!!



さっき
胸に打たれた分の
効果も
時間とともに
消えかかってくるし...

魔具の力さえ
なければ、
もうこれ以上
あんな男の手で
感じることはない!!

1306116
また一回読もう
待て...



ムムム…

どうもこの魔具
効果が落ちてきている
みたいじゃな…

やれやれ…

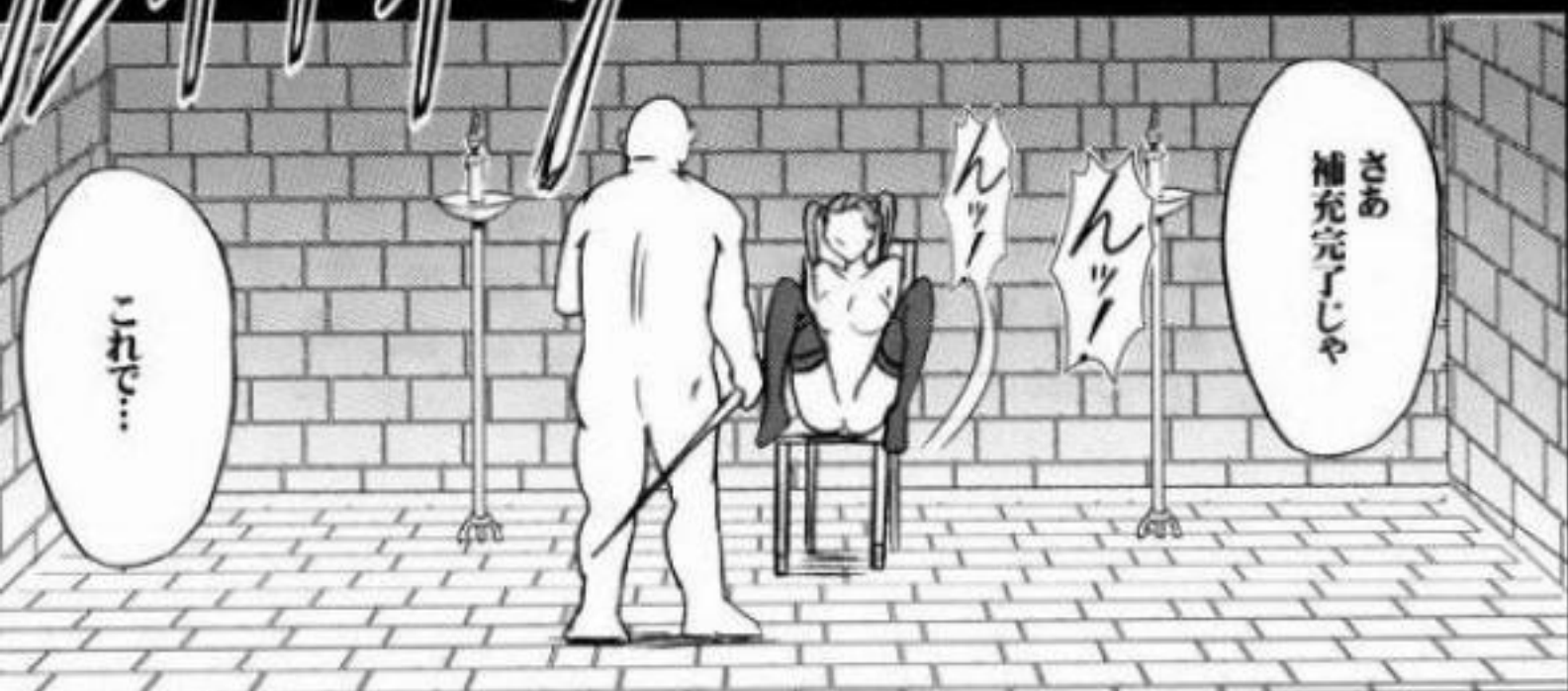
仕方ない…

さっき
ゼシカちゃんから
吸収させてもらったMPで

魔法力を補充
しようかの…



えっ…
そんなんっ…!!





打たれたところが
ジンジンしてくる
じやろう？

ほれほれほれ



うん...うん...

さっき打たれたときは
比べ物にならないくらいに...!



自分の魔法力を
エロ道具の
エネルギーに
使われて

さぞ
悔しかろう？

…!!

んん!!

んん!!



高い最大MPが
アタになつたかな？

これなら
3日間は使い続けることが
できそうじゃなあ

ほれほれ

んん!!



ほあほあ

もどかしいか？

もどかしい
じゃろう？

ほあ
ほあ

ズッ

もつと強く
はつきりとした
刺激がほしいか？



ん...ん...ん...

誰が...！

まあ
そうムリ
するな

感度ばかりが
あがり続ける

イクことは
できないの...

この悪魔の針に
つかれて

ズッ
ズッ



ムタよ...

ムタよ...
ムタよ...



ほれほれ

今 アソコに指を
入れられて
思いつきり
かき回されたら

さぞ
気持ちいいぞお?



ムタだつて...
言つてよ...



もう
素直になつたら
どうじゃ?



ああ!

分かるぞお

びるびる

カラダはもう
絶頂を待ちわびて
おるわ

あとは

ゼシカちゃんの
「おねだり」待ちじゃ

~~~~~

.....

ふ...ふ...ふけなさい...

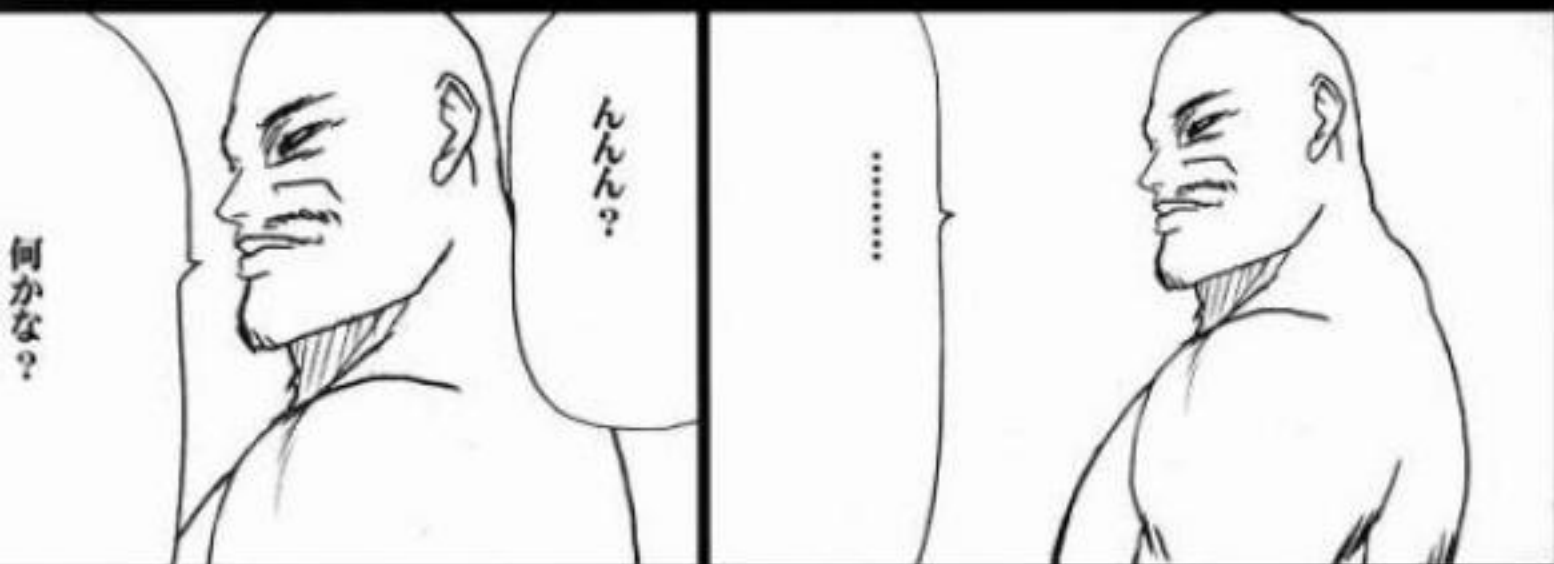
今ならまだ  
許してあげるわ！

早くこの拘束を  
解きなさい！！



ま…待って！

……



んんん？

何かな？

……



イカせて欲しい  
のかな？

さっしや



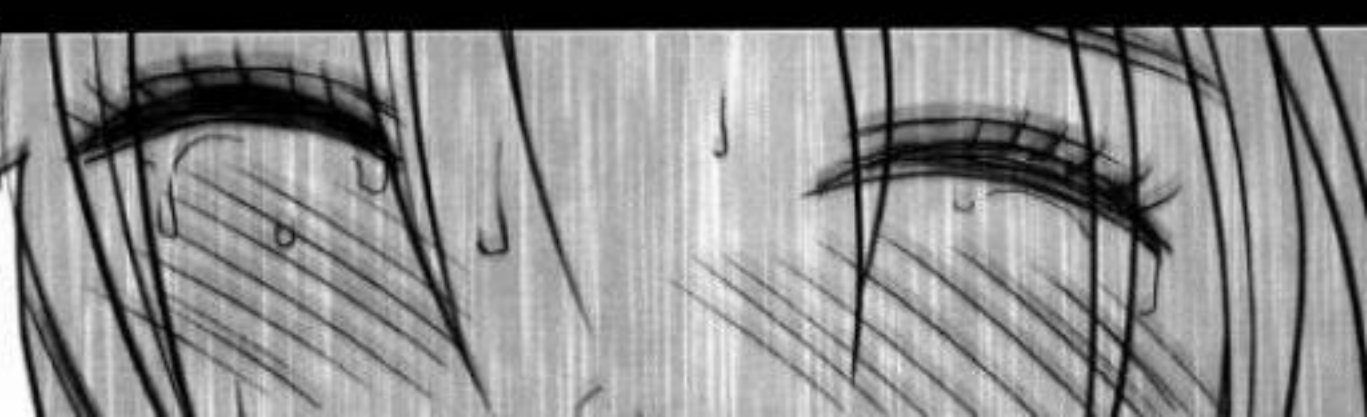
……







あああ  
あああ  
あああ







あっ……!

ドキッ



フル



も……もう  
い……  
イカせて……!

な……何で!

うそ……



さっきは  
「今ならまだ  
許してあげるわ!  
早くこの拘束を  
解きなさい!」

みたいなきとを  
言っておったクセに

~~~~~

スッ



ほれほれ

その程度のおねだりでは許してはやらんぞお？

……ッ!!

クッッ

んんん

ギシ

ギシ

うあッ!!



ギシ

……ッ!!

ギシ

ああ!

んんん

はあ!!

んんん

屈辱的なおねだりをするんじやな

イカせて欲しかったらもつと…

な…生意気なことを
言つて
すいませんでしたッ！

おねだいだから
もうイカせてくださいッ！



フル





あああッ
ああ

アッ

アッ

アッ



アアアア



ラァッ!!

はぁ!!

入れられた瞬間に
まず1回

2回 乳首をつままれて

のけぞった反動で
隣内がこすれて
3回

今だけで
3回はイッたかの

もう意識が
もうろうとしているであろう
ゼシカちゃんに
変わって

ワシが
今日起こった出来事を
ふりかえってやろうか



村人を助けようと
依頼を受けたほうがいいが
実はその依頼はウソで…

騙されて鎖につながられ
動けなくなり…

剣も魔法も使えないような
ただの中年男の手で
さんさんイカされ…

魔法力を吸い取られ…



その後
自分の魔法力を利用して
みだらな道具で
責められて…

いやらしいカラダに
変えられて…

と…まあ
こんな感じ
だったかな？



さて…

今の気分は
どうかな…？

き…気持ち
いいです……

もうダメ…何も考えられない……!

クッ
クッ
クッ



上出来
じゃな

ああ
ああ
あッ!





呪われた指輪を装備してしまったため、村中の男たちにカラダを狙われることになったピアンカ



転職したてでレベルが低いところを狙われて盗賊たちに襲われてしまう女賢者

村人たちの罠にはまって拘束され、MPを吸われ完全に屈服するまで責め続けられるゼシカ



ピアンカ物語1、ピアンカ物語2、女賢者の油断、ゼシカ墮を収録